

バスケットするために絶対守ろう！！

新型コロナウイルス感染拡大の今、バスケットをやるためには絶対に必要なこと

- 毎日検温 必ず検温で確認しよう
- 健康チェック 体調悪ければ（発熱・だるさ・・・）必ず休もう
- ミーティング 三密（密集、密閉、密接）を避けよう
- マスク 外して良いのはプレー中、食事中だけ
これ以外は絶対外さない！！
着替えの時も外さない！
- 食事 食事中は話さない！黙って食べよう！
- 消毒 行動前後にこまめに消毒しよう！
コートやボールは消毒できないので手指を消毒！
- 大会実施 検温チェックを必ずやろう
大会中止の決断も仕方がないと認めていこう！
37.5 度以上あったらチーム参加は見送ろう！

これからも バスケ と 感染対策 はセット

重要メッセージ：バスケットをするために、感染対策を見直そう

バスケットボールを行うためには「感染していない」ことが大前提です。
日本全国に感染が拡大している現状で、バスケットボール活動を行うためには「感染対策」が絶対条件であることをもう一度思い出しましょう。

■大会での感染対策

<背景>

- ・ 大会でクラスターが発生している

<狙い>

- ・ 大会でクラスターを発生させない（感染は悪ではないが、拡大させないことが大切）
- ・ 感染していない者がチーム活動をし、感染者がいないチームが大会に参加できることを再度認識しよう

<行動>

- ・ 大会における新型コロナ対策チームの設置。
 - 大会実施可否や参加チームの参加是非判断を行う。
 - 医師など専門家が含まれていることが望ましい。
- ・ チームへの感染対策の啓発
 - 大会中止、参加自粛勧告の可能性を予め伝える
 - 大会までの健康チェックの徹底を伝える
 - 感染が疑われる場合は参加辞退を決断すること、参加自粛勧告を受け入れること
 - 本資料1枚目の掲出による感染防止対策意識の向上に努める
- ・ 感染対策
 - 健康チェック
 - 当日の会場入りの際の検温
 - 消毒、プレー中以外のマスク常時着用
 - 感染疑い時には、参加しない、させない決断を
 - 感染拡大懸念時は、大会制限、中止を決断する
- ・ どのような場合に参加するべきではないかを明確にして実行する

<運営者の方へ>

- ・ 感染対策を運営者全体、参加チームで理解を深める機会を持ちましょう。

■チームの感染対策

<背景>

- ・ 市中、家庭内感染が増えており、いつどこで感染するかが分かりにくい
- ・ ウイルスを持っていれば感染するリスクは中程度と高いのがバスケットボール

<狙い>

- ・ 「感染していない者のみがバスケットボールができる」ことを思い出そう
- ・ 一人ひとりの感染対策の実行への意識を再度高めよう

<行動>

- ・ 感染が疑われる場合は活動を控える
 - 対外試合を控える
 - 活動を休む、別行動など活動を制限する
- ・ 練習・試合時以外の感染対策の啓発
 - 常時マスク着用
 - ◇ マスクを外して良いのはプレー中と食事中だけ
 - 食事：マスクを外して食事している時には話をしない
 - 三密（密集、密接、密閉）を避ける
 - 手指消毒を頻繁に行う

<指導者の方へ>

- ・ 指導者が率先して感染対策を呼びかけてください
- ・ 選手達が体調不良を正直に伝えやすい環境作りを心がけてください
- ・ 本資料1枚目を掲出して、チーム内での感染防止対策意識の向上に努めてください

■ バスケットボールを行うために、感染対策を行うことが絶対条件です。

■ 感染対策の質を下げないようにしましょう。

■ 大会など事業について、自治体からの中止要請があった場合は中止、またそれ以外にも感染拡大の懸念があると主催者が判断された場合は事業中止を決断することが大切です。

◎バスケットボールに携わる全員で感染対策に取り組もう！

◎バスケットボール活動と新型コロナ感染拡大防止を両立しよう！